



2023年8月9日

各位

会 社 名 NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社代表者名代表取締役社長 齋藤 充 (コード番号 9147 東証 プライム市場)問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長長谷川浩(TEL. 03-5801-1000)

# 日本通運株式会社の特別積合せ運送事業と 名鉄運輸株式会社の事業統合(子会社が当事会社となる会社分割) に関する基本合意書締結のお知らせ

当社は、2023 年 8 月 9 日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である日本通 運株式会社(以下「日本通運」)の特別積合せ貨物運送事業(以下「特積み事業」又は「対 象事業」)及び日本通運の子会社である NX トランスポート株式会社(以下「対象会社」)と 名鉄運輸株式会社(以下「名鉄運輸」)の統合(以下「本事業統合」)に向けた本格的な協議 を行う旨の基本合意書(以下「本基本合意書」)を、名鉄運輸の親会社である名古屋鉄道株 式会社(以下「名古屋鉄道」)との間で締結することを決定しましたので、下記のとおり、 お知らせいたします。

なお、本件は、適時開示基準には該当しないため、開示事項・内容を一部省略しております。

記

#### 1. 本基本合意書の締結の目的

日本通運と名鉄運輸は 2015 年 12 月 25 日に資本業務提携契約を締結し、これまで、特積み事業の分野において、協業を推進してまいりました。具体的には、両社グループがそれぞれに輸送ネットワークを維持しながら、一部地域において集配の共同化、拠点の共同利用などを実施し、ネットワークを部分的に相互活用することでオペレーションの効率化を図ってまいりました。

一方、昨今においてはエネルギー価格高騰、トラックドライバーの慢性的な人手不足、働き方改革関連法の施行等に伴って、人件費、外注費の上昇などの課題が顕在化しております。また、国内人口の減少、産業構造の変化などの影響を受け、国内総貨物量は減少することが予想され、特積み事業の市場についても、総貨物量の大幅な増加は期待できない状況にあります。

このような環境下において、昨今の経営環境変化に対する各種課題の解決とサービスレベルの向上を図るためには、両社グループの様々なリソースやノウハウなどの経

営資源のさらなる相互活用が不可欠であると判断し、資本業務提携の強化にむけた協議を開始することを 2023 年 5 月 22 日付「日本通運株式会社と名鉄運輸株式会社との資本業務提携の強化に向けた協議開始についてのお知らせ」において発表いたしました。

今後の特積み事業の方向性について様々な角度から検討を行い、名鉄運輸とも今後のアライアンスのあり方や相乗効果の更なる具現化に向けた協議を重ねた結果、本事業統合を行い、新たな合弁事業の体制を確立することが、両社グループの特積み事業の拡大及び強靭化につながると判断し、本事業統合の実現に向けて本基本合意書を締結することと致しました。

#### 2. 本件の概要

特積み事業の拡大及び強靭化を図るため、両社グループによる新たな合弁事業の体制を確立することを目的として、本事業統合を実施することとします。

本事業統合は、日本通運を吸収分割会社、名鉄運輸を吸収分割承継会社とし、日本通運が所有する対象会社の発行済普通株式の全部を吸収分割により承継させる取引(以下「対象会社分割」)及び対象事業を吸収分割により承継させる取引(以下「対象事業分割」)により行うこととします。なお、本事業統合により、対象会社は当社の連結子会社から外れることとなります。

本事業統合の対価は名鉄運輸の普通株式とし、本事業統合の実行後も名古屋鉄道が名鉄運輸の発行済み普通株式の50%を超える数を所有することを基本方針としております。具体的な内容や方式については最終契約締結までの間に決定してまいります。

#### 3. 当該子会社(会社分割の当事会社)の概要

(1) 名称	日本通運株式会社	
(2)所在地	東京都千代田区神田和泉町2番地	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堀切 智	
(4)事業內容	自動車輸送、鉄道利用輸送、海上輸送、船舶利用輸送、 利用航空輸送、倉庫、旅行、通関、重量品・プラントの 輸送・建設、特殊輸送、情報処理・解析などの物流事業 全般 および関連事業	
(5)資本金	701 億 75 百万円	
(6)設立年月日	1937年10月1日	
(7)発行済株式数	90,599,225 株	
(8)決算期	12 月	

(9)大株主及び 持株比率	NIPPON EX	PRESS ホールディングス(株)	100%
(10) 直前事業年度(2022	年 12 月期)の	対政状態及び経営成績	
(単位:百万円、特記しているものを除く)			
純資産			341,760
総資産			928,329
1株当たり純資産(円)			3,772.22
売上高			1,359,372
営業利益			48,881
経常利益			62,727
当期純利益			67,217
1株当たり当期純利益(円)			741.92

# 4. 対象会社(異動する子会社)の概要

(1) 名称	NX トランスポート株式会社		
(2)所在地	東京都千代田区神田和泉町2番地		
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 内海 史夫		
(4)事業内容	貨物自動車運送事業	業、貨物利用運送事	業、倉庫業など
(5)資本金	4億1008万円		
(6)設立年月日	1930年3月21日		
(7)大株主及び持株比率	日本通運株式会社		100%
(8)上場会社との関係	資本関係	当社連結子会社の	日本通運が 100%
		出資しております。	•
	人的関係	該当事項はありま-	せん。
	取引関係 該当事項はありません。		
(9) 直近の経営成績及び財政状態(単位:百万円、特記しているものを除く)			
決算期	2021年3月期	2021年12月期	2022年12月期
純資産	5,306	5,276	5,006
総資産	18,820	18,207	17,629
1株当たり純資産(円)	1,294,258.64	1,286,923.97	1,221,036.24
売上高	44,762	33,867	45,057
営業利益又は営業損失 (△)	△158	258	42
経常利益又は経常損失 (△)	△84	312	94

当期純利益又は	△93	150	△115	
当期純損失 (△)	△93	150	$\triangle$ 113	
1株当たり当期純利益又は				
1 株当たり当期純損失 (△)	△22,724.65	36,804.22	△28,255.39	
(円)				
1株当たり配当金(円)	43,810.00	36,803.90	0.00	

注) 2021 年 12 月期は決算期変更により 2021 年 4 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの 9  $\tau$ 月間となっております。

## 5. 対象事業の概要

(1)対象事業の内容

日本通運が行う特積み事業

## (2) 対象事業の直前事業年度における売上高

			小口貨物事業(a)	22年12月期実績(b)	比 率 (a/b)
売	上	高	37,714 百万円	1,359,372 百万円	2.8%

小口貨物事業の売上高には、特積み事業以外の売上高も含まれています。 対象事業の売上高は、上記売上高の一部を想定しています。

## 6. 相手先の概要

• 11.0 7.0 11.00			
(1) 名称	名鉄運輸株式会社		
(2)所在地	愛知県名古屋市東区葵二丁目 12番8号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉川 拓雄		
(4)事業内容	貨物運送事業を主力とする総合的な物流関連事業		
(5)資本金	1億円		
(6)設立年月日	1943年6月1日		
(7)発行済株式数	5 株		
(8)決算期	3月		
(9) 大株主及び	名古屋鉄道株式会社 809		80%
持株比率	日本通運株式会社		20%
(10)直前事業年度(2023年3月期)の財政状態及び経営成績			
(単位:百万円、特記しているものを除く)			
純資産			26,804
総資産			87,498

1株当たり純資産(円)	5,360,805,703.60
売上高	58,334
営業利益	304
経常利益	658
当期純利益	484
1株当たり当期純利益(円)	96,897,912.20

注) 2022 年 6 月 16 日付で普通株式 1,296,305 株につき 1 株の割合で株式併合を行ったため、1 株当たり純資産並びに 1 株当たり当期純利益は、当該期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

## 7. 日程

(1)	本基本合意書締結日	2023年8月9日
(2)	本事業統合の最終契約書締結日	2023年12月~2024年1月(予定)
(3)	対象会社分割の効力発生日	2024年4月(予定)
(4)	対象事業分割の効力発生日	2025年1月(予定)

また、公正取引委員会等関係当局への企業結合に関する届出、審査等(外国法に基づくものを含む)の完了も条件となっております。

## 8. 今後の見通し

本件に関する 2023 年 12 月期の通期連結業績及び通期個別業績に与える影響は、他の 要因も含めて現在精査中であり、今後開示すべき事項が発生または決定された場合には、 速やかに開示致します。

以 上